



2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社コンヴァノ 上場取引所 東  
 コード番号 6574 URL <https://www.convano.com/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 壺井 成仁  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 人事総務・広報部部长（氏名） 木村 恵美（TEL）03-3770-1190  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	531	△1.0	△36	—	△38	—	△38	—	△38	—	△38	—
2022年3月期第1四半期	536	223.0	45	—	43	—	29	—	29	—	29	—

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第1四半期	△16	56	△16	56
2022年3月期第1四半期	12	69	12	65

（参考）EBITDA 2023年3月期第1四半期 24百万円 2022年3月期第1四半期 102百万円

（注）1. 当社グループは経営上の重要な指標としてEBITDAを用いております。

2. 2023年3月期第1四半期連結累計期間において、新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期利益の計算から除外しております。

3. EBITDAの定義、計算方法につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する説明」をご覧ください。

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,359	—	812	—	812	—	34.4	—
2022年3月期	2,423	—	848	—	848	—	35.0	—

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	2,350	9.7	140	58.0	135	64.9	90	76.4	90	76.4	39.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	2,269,560株	2022年3月期	2,268,160株
2023年3月期1Q	111株	2022年3月期	111株
2023年3月期1Q	2,269,279株	2022年3月期1Q	2,261,183株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料は、TDnet及び当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、まん延防止等重点措置が解除されるなど、新型コロナウイルス感染症による活動制約は緩和されたものの、急激な円安による為替相場の変動、ロシア・ウクライナ情勢に起因するエネルギーおよび原材料価格の高騰などにより、景気の先行きの不透明感が高まっております。

当社グループの属するネイル業界におきましても、コロナ禍の外出自粛による消費マインドの冷え込みなどにより、依然として厳しい経営環境で推移しました。

このような環境の中、当社グループは、従業員数の減少(2021年3月末:360人、2022年3月末:325人)に伴う店舗スタッフの人員不足により一部店舗で臨時休業を実施したことが影響し、前年同期に比べて僅かに減収となりました。

従業員数は、積極的な採用・教育に取り組み増加傾向にあり(2022年6月末:334人)、今後も早期に適正な水準まで回復するよう努めてまいります。

利益は、雇用維持に伴う人件費の上昇と採用教育コストの増加などにより、前年同期比で減益となりました。

店舗展開では、4月にファストネイル テラスモール湘南店(神奈川県藤沢市)を新規出店しました。

なお、6月に雇用調整助成金の自主返還82百万円の納付を完了しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上収益は531百万円(前年同期比1.0%減)、営業損失は36百万円(前年同期は営業利益45百万円)、税引前四半期損失は38百万円(前年同期は税引前四半期利益43百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は38百万円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期利益29百万円)、当社グループが経営上の重要な指標としているEBITDA(※)は24百万円(前年同期は102百万円)となりました。

※ EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ① ネイル事業

(店舗数)

ブランド名	地域	2022年3月末	新規出店	2022年6月末
ファストネイル	関東	40(1)	1	41(1)
	東海	5	—	5
	関西	4	—	4
	中国	1	—	1
	九州	1	—	1
	計	51(1)	1	52(1)
ファストネイル・プラス	関東	3	—	3
ファストネイル・ロコ	関東	3	—	3
	東海	1(1)	—	1(1)
	関西	2(2)	—	2(2)
	九州	2(2)	—	2(2)
	計	8(5)	—	8(5)
合計		62(6)	1	63(6)

(注) ( )内はフランチャイズ店舗であり内数であります。

## (新規出店)

年	月	内容
2022	4	ファストネイル テラスモール湘南店(神奈川県藤沢市)を新規出店

## (業績)

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	534	529	△5
セグメント利益(△は損失)	46	△34	△80

## ② メディア事業

## (業績)

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	3	2	△1
セグメント利益(△は損失)	△1	△2	△1

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ101百万円減少し、490百万円となりました。これは主に、現金及び現金同等物が103百万円減少したことなどによるものであります。非流動資産は、前連結会計年度末に比べ37百万円増加し、1,869百万円となりました。これは主に、使用権資産が40百万円増加したことなどによるものであります。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、2,359百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、1,108百万円となりました。これは主に、引当金が83百万円減少した一方で、借入金が増加したことなどによるものであります。非流動負債は、前連結会計年度末に比べ34百万円増加し、439百万円となりました。これは主に、リース負債が増加したことなどによるものであります。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ28百万円減少し、1,547百万円となりました。

#### (資本)

資本は、四半期損失の計上などにより前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、812百万円となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ103百万円減少し、290百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は68百万円（前年同期は9百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期損失38百万円、助成金返還損失引当金△81百万円をそれぞれ計上したことなどによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は16百万円（前年同期比4百万円の支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出を13百万円計上したことなどによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は18百万円（前年同期比47百万円の支出減）となりました。これは主に、リース負債の返済による支出を49百万円計上したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の通期連結業績予想は、2022年5月12日の公表数値から変更はありません。

当第1四半期連結累計期間の業績は、通期連結業績予想に対して概ね想定範囲内で推移しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響は不透明であるものの、2022年4月以降も一定期間継続するものと仮定しております。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	392,626	289,879
営業債権及びその他の債権	109,783	101,074
棚卸資産	70,189	77,692
その他の流動資産	18,435	21,007
流動資産合計	591,033	489,653
非流動資産		
有形固定資産	70,454	70,729
使用権資産	300,319	340,544
のれん	650,260	650,260
無形資産	559,818	556,603
その他の金融資産	152,681	152,390
その他の非流動資産	879	772
繰延税金資産	97,696	97,696
非流動資産合計	1,832,107	1,868,995
資産合計	2,423,140	2,358,647
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	54,105	57,410
借入金	630,000	660,000
未払法人所得税等	6,634	1,659
リース負債	157,915	159,357
その他の流動負債	239,034	229,940
引当金	82,500	—
流動負債合計	1,170,188	1,108,366
非流動負債		
借入金	200,000	200,000
リース負債	145,014	180,224
その他の非流動負債	15,151	14,129
引当金	44,389	44,400
非流動負債合計	404,553	438,753
負債合計	1,574,741	1,547,119
資本		
資本金	50,682	51,162
資本剰余金	2,864	3,084
利益剰余金	794,941	757,370
自己株式	△89	△89
親会社の所有者に帰属する持分合計	848,399	811,528
資本合計	848,399	811,528
負債及び資本合計	2,423,140	2,358,647

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	536,040	530,615
売上原価	347,727	341,687
売上総利益	188,313	188,927
販売費及び一般管理費	193,690	224,567
その他の収益	50,733	2,518
その他の費用	712	2,851
営業利益(△は損失)	44,644	△35,973
金融収益	166	163
金融費用	1,856	1,761
税引前四半期利益(△は損失)	42,954	△37,571
法人所得税費用	14,254	—
四半期利益(△は損失)	28,700	△37,571
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	28,700	△37,571
四半期利益(△は損失)	28,700	△37,571
親会社の所有者に帰属する 1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)	12.69	△16.56
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)	12.65	△16.56

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益(△は損失)	28,700	△37,571
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	28,700	△37,571
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	28,700	△37,571
四半期包括利益	28,700	△37,571

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2021年4月1日残高	94,987	659,283	34,896	△67	789,099	789,099
四半期利益(△は損失)	—	—	28,700	—	28,700	28,700
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	28,700	—	28,700	28,700
新株の発行	5,520	1,850	—	—	7,370	7,370
所有者による拠出及び所有者 への分配合計	5,520	1,850	—	—	7,370	7,370
所有者との取引額合計	5,520	1,850	—	—	7,370	7,370
2021年6月30日残高	100,507	661,133	63,595	△67	825,169	825,169

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2022年4月1日残高	50,682	2,864	794,941	△89	848,399	848,399
四半期利益(△は損失)	—	—	△37,571	—	△37,571	△37,571
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	△37,571	—	△37,571	△37,571
新株の発行	480	220	—	—	700	700
所有者による拠出及び所有者 への分配合計	480	220	—	—	700	700
所有者との取引額合計	480	220	—	—	700	700
2022年6月30日残高	51,162	3,084	757,370	△89	811,528	811,528

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△は損失)	42,954	△37,571
減価償却費及び償却費	57,720	60,162
金融収益	△166	△163
金融費用	1,856	1,761
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△17,068	8,709
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,423	△7,503
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△5,206	9,973
未払消費税等の増減額(△は減少)	△59,104	△22,346
未払給与の増減額(△は減少)	△1,362	5,732
未払賞与の増減額(△は減少)	—	△4,924
未払有給休暇の増減額(△は減少)	△4,216	3,386
資産除去債務の履行による支出	△1,492	△48
助成金返還損失引当金の計上	—	△80,500
その他	2,099	3,383
小計	14,593	△59,948
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△1,869	△1,773
法人所得税等の支払額(△は支払)	△3,443	△6,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,280	△68,355
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,491	△13,062
無形資産の取得による支出	△16,563	△2,973
敷金及び保証金の差入による支出	△341	△66
敷金及び保証金の回収による収入	91	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,305	△16,011
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△20,000	△20,000
株式の発行による収入	7,370	700
リース負債の返済による支出	△52,374	△49,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,004	△18,381
現金及び現金同等物の増減額	△76,028	△102,747
現金及び現金同等物の期首残高	364,942	392,626
現金及び現金同等物の四半期末残高	288,913	289,879

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているセグメントであります。

当社は業績評価に使用する区分として、事業の種類別に「ネイル事業」及び「メディア事業」の2つを報告セグメントとしております。ネイル事業は、店舗でのネイル施術等のサービス提供及びネイルケア商品等の販売をしております。メディア事業は、ネイルサロンの店舗網を活かし、企業等に対し、広告サービスを提供しております。セグメントの会計処理の方法は、当社グループの会計方針と同じであります。報告セグメントの利益は、要約四半期連結損益計算書上の営業利益であります。金融収益、金融費用、法人所得税費用は、取締役会が検討するセグメント利益に含まれていないため、セグメント業績から除外しております。

## (2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失、その他の重要な項目の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			消去	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ネイル事業	メディア事業	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	533,459	2,581	536,040	—	536,040
セグメント間の売上収益	387	—	387	△387	—
計	533,846	2,581	536,427	△387	536,040
セグメント利益(△は損失)	45,852	△1,208	44,644	—	44,644
金融収益					166
金融費用					1,856
税引前四半期利益(△は損失)					42,954
その他の項目					
減価償却費及び償却費	57,720	—	57,720	—	57,720

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			消去	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	ネイル事業	メディア事業	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	528,990	1,625	530,615	—	530,615
セグメント間の売上収益	244	—	244	△244	—
計	529,234	1,625	530,858	△244	530,615
セグメント利益(△は損失)	△33,962	△2,010	△35,973	—	△35,973
金融収益					163
金融費用					1,761
税引前四半期利益(△は損失)					△37,571
その他の項目					
減価償却費及び償却費	60,162	—	60,162	—	60,162

(注) セグメント間の売上収益は、原価を基準に決定した価格に基づき算定しております。

## (1株当たり利益)

## (1) 基本的1株当たり四半期利益

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失) (千円)	28,700	△37,571
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	2,261,183	2,269,279
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	12.69	△16.56

## (2) 希薄化後1株当たり四半期利益

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失) (千円)	28,700	△37,571
発行済普通株式の加重平均株式数(株)	2,261,183	2,269,279
希薄化後普通株式の加重平均株式数(株)	2,268,175	2,273,271
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	12.65	△16.56

(注) 当第1四半期連結累計期間において、新株予約権は逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり四半期損失の計算から除外しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。